

洋画

応募点数	76点	招待作品	50点
入賞点数	7点	展示点数	119点
入選点数	62点	◎は移動展出品作品	

(総 評) ここ10年余り、出品者が減少傾向となっていて、加えて常連出品者が少なくなったこともあり、昨年に比べてやや少ない出品数となり、強烈な熱を感じられる力作が減っているように思われたのは残念でした。

しかしながら、初出品は10名を数え、新鮮な息吹きを感じられました。

そして、知事賞をはじめ受賞作品は発想から技術的なものまで、それに相応しい力量が感じられ、今後より一層の充実が期待されます。

それでは招待作品も含め洋画の魅力をゆっくりとご鑑賞ください。

(文責 杉谷 俊一)

知事賞 ◎

Never Surrender^{けんびてん}(県美展へのミューズ) ^{しぶ たに しん じ} 渋谷 慎 治 (益田市)

受賞選考に入って尚、一際目を引く作品でした。決定後、改めて作者名を確認すると、かつて受賞を重ねられた方と分かりました。題名が示す通り、幾星霜を経て制作のブランクの後の再生を自ら鼓舞されている背景が伺えます。

生体標本のような形態が横溢する画面は、一見して気味悪くも感じますが、作者を取り巻く様々な環境や感情の坩堝とも見えてきます。

飽くなき美の追求とこの度の復活をとまにお喜び申し上げます。

(文責 北本 雅己)

金 賞 ◎

^{みなみ}南アフリカの庭 ^{にわ} ジャカランダとブーゲンビリア ^{まんかい} 満開

^{はた} 畑 ^{し ず こ} 志 壽 子 (益田市)

抜群の描写力が際立つ作品です。

臨場感溢れ、観る者を惹きつけ、その場へと誘います。油彩作品や大作が多い中、この度の作品は決して引けをとりません。

今後、画面の密度を保ちながら、思い切って省略する表現を取り入れる等、更にメリハリのある作品を期待しています。

(文責 若林 俊樹)

銀賞 ③

Rebuilding

近藤 顕 (安来市)

ダイナミックな3点の作品から選出された銀賞です。どの作品も、木製パネルに石膏による効果的なマチエール（下地）を施し、単色で彩色したものです。

選ばれた2点の作は、人物と思われる形態が幻想的に浮かびます。青と赤の対比が相乗的に鑑賞者の想像を駆り立てます。計算されたマチエールの効果を味わいたいものです。 (文責 鳥屋尾 敬)

銀賞 ③

羅漢 I

岡田敏幸 (出雲市)

毎年石仏を描いて出品されているが今年の作品は力作であった。モノクローム調で画面がまとめられていて安心して観ることができる。

石仏の描き方にもう一工夫あればもっと作品が向上するのではないだろうか？たとえば全ての石仏の顔の丸みに変化をつけるとか、石の質感に迫ってみるとか。

(文責 梶谷 修弘)

銅賞 ③

秋の気配

能美睦 (江津市)

音楽の三要素であるリズム・メロディ・ハーモニーがそなわっていて、まさに快い音楽が聞こえて来るようです。水彩のぼかしの技術を、実にうまく使っており、柔らかいふんいきがあり大好評の作品です。 (文責 金本 裕行)

銅賞 ③

黄泉

荻荘悠午 (松江市)

端正な水彩画で構図も安定していて良く描かれている。ほとんど色がないが、特に石段の表現に魅力があり、両側の木々はやや写生的になった。水彩画で賞に選ばれるのはきわめて珍しい。 (文責 鹿島 昭一)

銅賞 ③

衝動

谷口良太 (松江市)

モノトーンの色調でまとめられた画面から、力強さが伝わってくる心象性のある魅力ある作品です。動物らしい形が太い黒い線で大胆に描かれ、動きのあるシンプルな画面構成となっています。特に右側中央の赤の色彩が美しく入っています。画面から発信される生き生きとしたエネルギーが、この絵の良さです。 (文責 杉原 孝芳)

入 選

題 名	氏 名	備 考
宍道湖の朝	八 尾 洋 一 (鳥取県)	
トルコ・ヒエラポリス遺跡 (Ⅱ)	仲 田 嘉 文 (安来市)	
ふりうごくかたち 2	鎌 田 和 人 (出雲市)	
約束	森 脇 みつ江 (松江市)	
荒神谷にて	園 山 育 美 (出雲市)	
落日	田 中 武 男 (出雲市)	
旧街道	中 井 敏 夫 (松江市)	
三姉妹	榎 郁 子 (松江市)	
古代の贈物②	高 橋 恵美子 (松江市)	
ゲンキとラフレシア	永 原 陽 子 (松江市)	
冬支度	赤 木 和 子 (安来市)	
ドックⅦ	吉 岡 太 佑 (松江市)	
⑩ 寒礁	川 神 登 (浜田市)	
大河にかかる潜水橋	石 川 修 夫 (出雲市)	
参道のモニュメント	内 田 篤 男 (奥出雲町)	
結	小 海 志津子 (松江市)	
感謝	天 野 勝 則 (江津市)	
H S P	近 藤 顕 (安来市)	
漁具	田 中 陸 次 (江津市)	
千丈溪	大 石 英 隆 (江津市)	
風の国	帯 刀 久 芳 (江津市)	
⑩ みのりの秋	坂 根 英 子 (川本町)	
木蓮	窪 田 加津子 (江津市)	
⑩ 春の田代池	萬 田 みち子 (浜田市)	
⑩ なかよしコッコちゃん	砂 田 津多江 (邑南町)	
午後のひととき	青 笹 昭 代 (江津市)	
玄関先で寝る犬	中 田 浩 美 (大田市)	
⑩ 夏	大 道 愛由美 (浜田市)	
なすび畑の猫車	柿 田 周 直 (大田市)	
⑩ 思い出のシルクロード	非 々 玲 子 (川本町)	
⑩ 水車小屋と杜若	藪 田 康 子 (浜田市)	
静物	原 田 清 栄 (江津市)	
カラー (花)	兒 玉 利 江 (江津市)	
⑩ 夏の朝—浜田川—	宇津卷 由美子 (浜田市)	
上高地から望む	伏 谷 和 寿 (安来市)	
玉若酢神社馬入れ神事	長 岡 道 久 (出雲市)	
日は昇る	裏 辻 律 男 (鳥取県)	
古民家	金 築 克 郎 (出雲市)	
三刀屋の空	陶 山 本 子 (雲南市)	
La glycine	柳 原 敬 三 (出雲市)	
黒豹	日 野 睦 (出雲市)	

	題 名	氏 名	備 考
⑩	窓辺	安 田 千津子 (益田市)	
	運命の樹	畑 志壽子 (益田市)	
	紅葉火山	多 納 千恵美 (出雲市)	
	秋のテトラポットのある風景Ⅲ	平 木 千 秋 (海士町)	
	モデル	池 尻 都 (松江市)	
	青い像	森 木 克 則 (松江市)	
	スイング I	山 本 静 代 (安来市)	
	里山の風	中 村 百合枝 (安来市)	
	鳥があつまって	古志野 亮 太 (安来市)	
	冷が池山荘 (北アルプス)	高 橋 要 (松江市)	
	松江堀川	間 庭 喜美江 (松江市)	
	時計台	持 田 久美子 (出雲市)	
	朝まだき	伊 藤 若 美 (出雲市)	
	ぶどう棚	錦 織 桂 子 (出雲市)	
	Twinkling twins	保 科 舞 (松江市)	
	OUR WORLD	watamu0103 (松江市)	
	蔵と古民家	門 脇 豊 (松江市)	
	是空	西 村 仁 伸 (松江市)	
	恋山・玉日女命の陣	神 門 和 久 (奥出雲町)	
	平成の両界曼荼羅図	遠 藤 修 一 (松江市)	
	猫が見る夢	鷺 野 奈 緒 (安来市)	

招 待

	題 名	氏 名	備 考
	人形の室	阿 式 康 央 (松江市)	
	ブルーカフェ	乾 克 子 (浜田市)	
	北山弥山晩秋	石 橋 博 (出雲市)	
	コンチェルト	井 上 富美子 (出雲市)	
	柁の頃	井 上 春 雄 (松江市)	
	メッセージ	岩 崎 久美子 (安来市)	
	グレーゾーン	岩 田 明 美 (松江市)	
	或る日の対話	岩 田 賀代子 (安来市)	
	蟹	岩 田 義 男 (松江市)	
	Noah (シェルター)	鹿 島 昭 一 (松江市)	
⑩	精霊舟	梶 谷 修 弘 (出雲市)	
⑩	響命	春 日 裕 次 (浜田市)	
	何処へ	勝 田 敏 夫 (松江市)	
⑩	景	勝 部 和 子 (大田市)	
	夏の日	加 藤 勝 子 (江津市)	
	田舎の仏像	門 脇 悦 男 (松江市)	
	いか干し	門 脇 博 光 (松江市)	
⑩	雪の高津柿本神社遠望	金 本 裕 行 (益田市)	

	題名	氏名	備考
	雪の奥田原	川井一玄 (安来市)	
	幻想	神門芳子 (松江市)	
	恐怖	神庭明 (安来市)	
	港	杵築伸 (出雲市)	
⑩	DANCING	北本雅己 (出雲市)	
	巡る刻	木下幸子 (松江市)	
	浮遊するピエロ	熊谷侑子 (松江市)	
	月	藏敷真弓 (出雲市)	
	光を求める	栗原清司 (松江市)	
	ある夏の思い出	桑本京子 (出雲市)	
	約束の街	近藤隆 (安来市)	
	「出雲の左儀利」	佐藤收男 (出雲市)	
⑩	富士	水津保美 (津和野町)	
⑩	情況	杉谷俊一 (松江市)	
	たたら田当日	杉原孝芳 (出雲市)	
	漁村	角洋子 (出雲市)	
	古里の冬	高橋伊武 (江津市)	
	静寂	田部明芳 (雲南市)	
	どこかで	常松淳子 (出雲市)	
⑩	秋さぶ	寺井壽一 (益田市)	
⑩	敦煌回想	鳥屋尾敬 (出雲市)	
⑩	ガラスの刻	永尾和子 (浜田市)	
	共生	花谷久代 (安来市)	
	車輛基地	原増男 (出雲市)	
	森の詩	樋野梢 (松江市)	
	想	福田佳史 (出雲市)	
	ふたり	持田隆志 (出雲市)	
	残響	森井久司 (出雲市)	
⑩	I ZUMO - 相聞	森田廣 (安来市)	
⑩	カミアリツキノヨル	森山恭 (出雲市)	
⑩	風のかたち18-3	山岡晴夫 (出雲市)	
⑩	サルトリイバラと魚	若林俊樹 (松江市)	